

通し番号	3737
------	------

分類番号	12-54-22-03
------	-------------

(成果情報名) トウモロコシの品種比較試験	
<p>[要約] 絹糸抽出期前後に強風、台風があり例年になく折損・倒伏が多発した。このため、受粉が妨げられ、全体に雌穂部の充実が悪く、乾物中の雌穂部割合が45%以上の品種は8品種のみで、乾物収量は低収であった。根腐病は、19品種で発生し、アラミスが30%以上と高い発病率であった。安定した収量性を示したNS89Aが新たに県奨励品種に指定された。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

サイレージ用トウモロコシの市販品種を中心に各品種3年間継続し品種比較試験を行い、県奨励品種改訂の基礎資料とするため実施した。

[成果の内容・特徴]

- 1 気象概要として平均気温は、6月中旬を除いて平年を上回った。降水量は平年よりも少なかったが、降水日が多かった。日照時間は絹糸抽出前後の40日間は平年比108%であったが、他の期間は83%と短かった。6月下旬から7月上旬に台風があった。
- 2 発芽及び初期生育は順調であったが、絹糸抽出期前後に台風等の影響で折損・倒伏が多発し、一部の株は収穫時には腐敗し欠株状態となった。折損率はP3540が最も高く、倒伏率は、ロイヤルデント100が最も高かった。根腐病は19品種で発症し、特にアラミスは30%以上と高かった。
- 3 折損等の影響により受粉が妨げられ、雌穂部の充実が悪く、前年と比較して乾物雌穂重が全体的に少なかったため、合計乾物収量も低収であった。また乾物中の雌穂部割合が45%以上を示したのは26品種中8品種であった。
- 4 昨年度までの奨励品種は、P3540、セリア、DK727、32K61、DK789、G4742の6品種が指定されており、本年度新たに安定した収量性を示したNS89Aが指定された。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本県に適した奨励品種を選定、啓蒙普及することにより飼料自給率の向上を図る。
- 2 供試品種は、毎年見直しを行っており、新しい品種の特性を明らかにする。

[ 具体的データ ]

表 1 生育調査結果

No	区分	系統名	流通名	R M	ほ場	稈長	着雌穂	折損	倒伏	根腐
					日数	(cm)	高 (cm)			
1	2	TH9675	ロイヤルテント100	100	95	213	98	0.0	86.1	0.0
2	2	36A43	36A43	102	95	220	96	16.5	79.7	0.0
3	1	KD520	コートテントKD520	105	95	236	101	5.0	27.5	1.3
4	2	35G86	35G86	108	99	242	106	26.9	12.8	7.7
5		P3540	P3540	110	99	236	106	68.4	2.5	1.3
6	1	DK567	DK567	110	99	239	108	30.0	36.3	2.5
7	1	KD620	コートテントKD620	112	99	239	99	26.3	18.8	1.3
8	3	ZX2314	ゼンラクコン113	113	99	216	99	31.3	48.8	12.5
9	1	C909	交C909	113	99	240	93	34.6	18.5	0.0
10	2	DK616	コートテントDK616	115	99	229	100	46.3	42.5	5.0
11	1	アラミス	アラミス	115	101	235	103	47.5	21.3	30.0
12		セリア	セリア	115	101	233	109	21.8	71.8	5.1
13	1	KD670	コートテントKD670	117	101	270	121	21.5	21.5	0.0
14	2	33G26	33G26	118	102	246	109	24.7	54.5	1.3
15	1	ZX6673	ゼンラクコン118	118	102	228	95	10.3	79.5	19.2
16		DK727	スノテント120X	120	102	239	101	8.9	49.4	0.0
17	1	TX9854	ロイヤルテント120	120	102	265	129	32.9	29.1	0.0
18	1	ZX7605	ゼンラクコン120	120	102	272	126	15.2	36.7	0.0
19		32K61	32K61	122	102	248	101	7.9	42.1	5.3
20		NS89A	NA89A	123	106	255	121	10.0	38.8	10.0
21		DK789	コートテントDK789	125	106	230	109	8.8	56.3	6.3
22		G4742	スノテント125Z	125	106	251	105	18.8	6.3	11.3
23	2	NS99A	NAS99A	126	108	268	123	1.3	18.4	5.3
24	3	KD777	コートテントKD777	127	108	256	118	7.7	47.4	3.8
25	1	NS91X	NS91X	127	108	248	111	10.3	57.7	14.1
26	1	SH0800	SH0800	127	106	259	116	8.8	62.5	13.8

区分欄の数値は試験継続年数、 は奨励品種、 は新たに指定された奨励品種

表 2 収量調査結果

No	区分	系統名	生草収量 (kg/a)			乾物収量 (kg/a)			雌穂重 割合%	相 対 評 価			
			茎葉	雌穂	合計	茎葉	雌穂	合計		本年	H11	H10	H 9
1	2	TH9675	371	99	470	62.9	56.3	119.2	47.2	54	76		
2	2	36A43	318	132	449	75.3	73.4	148.7	49.4	58	76		
3	1	KD520	417	122	539	79.9	64.1	144.0	44.5	54			
4	2	35G86	340	116	457	74.2	66.7	140.9	47.3	59	90		
5		P3540	439	116	555	81.9	66.0	147.9	44.6	74	90	74	74
6	1	DK567	422	127	548	71.5	71.9	143.4	50.2	54			
7	1	KD620	462	123	584	90.9	67.3	158.2	42.5	66			
8	3	ZX2314	410	116	526	69.7	64.2	133.9	47.9	44	56	69	
9	1	C909	580	94	673	92.8	45.9	138.7	33.1	53			
10	2	DK616	409	119	528	80.1	65.0	145.1	44.8	49	83		
11	1	アラミス	376	105	481	66.3	60.8	127.1	47.8	34			
12		セリア	415	123	538	80.5	67.8	148.3	45.7	51	88	74	79
13	1	KD670	532	117	649	94.7	64.6	159.3	40.5	61			
14	2	33G26	448	138	586	86.2	77.7	163.9	47.4	68	83		
15	1	ZX6673	350	86	435	65.1	46.5	111.6	41.7	37			
16		DK727	508	119	627	88.1	64.4	152.5	42.2	59	95	74	84
17	1	TX9854	571	127	699	85.1	66.4	151.5	43.8	59			
18	1	ZX7605	577	133	710	90.5	70.5	161.0	43.8	66			
19		32K61	475	117	592	90.9	64.3	155.2	41.4	54	95	79	
20		NS89A	479	96	576	90.4	52.6	143.0	36.8	40	88	74	
21		DK789	503	119	622	90.6	66.4	157.0	42.3	54	68	74	79
22		G4742	496	127	623	94.0	74.2	168.2	44.1	71	61	64	74
23	2	NS99A	602	87	689	114.9	44.8	159.7	28.1	53	82		
24	3	KD777	530	93	623	98.8	51.9	150.7	34.4	53	61	79	
25	1	NS91X	445	78	523	86.1	43.3	129.4	33.4	38			
26	1	SH0800	529	75	604	97.9	40.2	138.1	29.1	36			
平 均			461.7	111.7	573.3	84.6	61.4	146.0	42.1				
前年平均			358.8	155.4	514.2	77.5	90.3	167.8	53.9				

区分欄の数値は試験継続年数、 は奨励品種、 は新たに指定された奨励品種

[ 資料名 ] 平成12年度試験研究成績書(繁殖工学・乳牛・肉牛・飼料作物)

[ 研究課題名 ] 飼料作物奨励品種選定試験

[ 研究期間 ] 平成12年度(昭和58年度~)

[ 研究者担当名 ] 荒木尚登・水宅清二・田中靖彦・中岡道明